

みなさんこんにちは。
こどものとも社の高林信作と申します。
原町幼稚園さんに福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。
ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。

今回は絵本のお話です。

月刊絵本こどものともの8月号で『かぐやひめ』が出版されました。
誰もが知っている物語を、美しい絵と、原典に近い形で子どもたちが聞いてわかるような語り口によって再話された絵本になっています。「かぐやひめの物語」は竹取物語をもとにしたお話しで、様々な形で書籍化やメディア化されてきましたが、このこどものともの「かぐやひめ」は再話、絵、ともに子どもにとってのお話しとしては随一の絵本ではないでしょうか。

竹取物語は平安時代初期に書かれた作者不詳の物語で、文学の祖とも言われています。仮名文字で書かれた作品としては最も古いもので、原本は残っておらず現代に伝わる内容は室町時代以降の写本や注釈書によって復元されたものです。

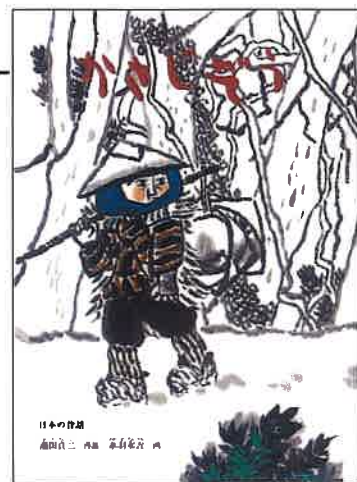
主な写本に御物本、吉田本、冷泉家本、西本願寺本などがあります。

作者不詳ですが、時代背景や内容から、作者は平安時代初期に活躍した学者の「印部広成（いんべのひろなり）」という説が有力です。他には弘法大師空海という説もあり、作中に登場する天皇は嵯峨天皇ではないか、という研究者もいます。



内容からみて、子ども向けのファンタジー作品ではなく、当時の時代背景や貴族たちの有様を風刺的に描いたという見方もされています。

福音館書店の美しい昔話絵本です。ぜひ読んでみてください。



竹取物語の内容についてのある研究者の考察をご紹介します。

月から迎えに来た者が「かぐや姫はある罪を背負い地上に来た」と言っています。他にも、かぐや姫自身が「昔の契りがあったのでここに来ました」と言っています。罪、契りの内容は本文にはでてきません。いったい罪とはなんのことでしょうか？

それを解くカギは「古事記」にあるようです。

古事記とは、日本最古の歴史書で、日本神話や天皇の系譜を記した文献です。

古事記の中に天孫降臨の話が出てきます。

最高神アマテラスオオミカミの孫にあたるニニギノミコト（天皇の祖）が天から地上に降り立った時、コノハナノサクヤビメと出会い求婚します。この時、コノハナノサクヤビメの父であるオオヤマツミノカミはコノハナノサクヤビメと対になっている姉のイワナガヒメも共に嫁がせようとします。しかしニニギはイワナガヒメだけを断ってしまいます。



天孫降臨



イワナガヒメ(ウィキペディアより)



コノハナノサクヤビメ

これに怒ったオオヤマツミノカミはニニギに本来与えるべき、イワナガヒメの持っている力である、永遠の命と目には見えない美しさを与えませでした。これにより天皇に命の限りができたとされています。

かぐや姫は古事記に出てくるコノハナノサクヤビメの化身とされており、コノハナノサクヤビメと対となっているイワナガヒメもかぐや姫と同一と考えます。かぐや姫がこの二人とオオヤマツミノカミの罪（永遠の命と見えない美しさ）を帝に与えるべく、時代を超えて地上に来たという考察です。

本文ではかぐや姫は帝に不死の薬を渡します。しかし天皇はそれを月に一番近い山の頂上で燃やしてしまいます。この山が不死山（ふじさん）と言われています。

絵本では不死の薬を渡す場面や富士山のことはできませんが、この美しい絵本が子どもたちの心に残り、またいつか竹取物語に興味を持って歴史に触れてくれればいいなと思います。



世界に飛び立て(8)



こんにちは。はらっぱを通して、自分の子育てを振り返る第四弾
20年間の子育てを通して感じた事をつらつらと書いています。

『もし、もう一度子育てが出来るとしたら次は絶対にこうする！ベスト5』の

- ①とにかく子どもとたくさんお喋りする、子どもの話をたくさん聞く
- ②子どもと一緒にいる時にはスマホや携帯は触らない、見ない
- ③長時間叱らない
- ④子どもの行動や考えを面白く見聞きする
- ⑤子どもの興味や関心事の種を見逃さない、好きな事とことんさせてみる



今回は、③「長時間叱らない」についてお話しします。

なぜ、長時間子どもを叱ってしまったのだろう、これについては後悔一択です。
当時の自分に声をかけるとしたら

- ・そんなに怒ることなの？
- ・そんな悪いことしたの？
- ・そこまで言わなくてもいいんじゃないの？
- ・何が気に入らないの？
- ・何をそんなにイライラしているの？



文字にしてみてもはっきりすることは、叱るではなく、怒るになってしまっていたという事です。長時間叱らない、ではなく、長時間怒らない、ですね。
やはり反省しかありません。

冷静に反省してみます。私の大好きなアドラー心理学の「目的論」の観点から見てみます。
アドラー心理学の「目的論」とは？

- ・人の行動は過去の原因ではなく、未来の目的によって決定される。
- ・つまり、「なぜ怒ったか」ではなく、「怒ることで何をしようとしているか」が重要。

つまり私が、子どもを叱る行為は、単なる感情の発露ではなく、「怒る」という目的を達成するための手段として叱る行動を選んでいると解釈できます。
もっとシンプルに言うと、
自分のイライラした感情をぶつけてしまっていたという事です。

娘の些細な行動をきっかけとして、自分の感情を発露していただけたのです。
娘が返事をちゃんとしなかった、自転車に乗るときによそ見をしていた、部屋の片づけをしなかったなど、優しく声をかければ済む話なのに、自分自身の不安定な気持ちやイライラをぶつけていただけたのです。最低です、本当に。





この後悔の気持ちは、子育て中の私の心に重くのしかかり、娘が成長すればするほど重みは増していきました。娘はきつと理不尽さに気づいていたと思いますし、なによりとても傷ついたと思います。だれよりも味方であってほしい親が、鬼のように怒るなんて、とても怖く不安であったと思います。

これまで何度か娘に謝る機会がありましたが、娘に謝るたび、「そうだった？」と気軽に返されることもあり、「子育ては大変だったのよ」と励まされることもありました。娘の優しい言葉を聞くほど、私は過去の自分を反省し、もう一度子育てをやり直したいと思いました。



親はときにイライラしますが、大人同士でその感情をぶつけることはほとんどありません。心のブレーキが子どもにも働けばよいと思います。子どもも一人の人間として尊重され、愛される存在です。

今、もう一度子育てをやり直せるなら、子どもの失敗を大笑いしてみます。子どもの行動を面白く見聞きしてみようと思います。圧倒的な受容感や肯定感が育まれさえすれば、子どもはどんな道でも自分でぐんぐん進んでいけそうな気がするからです。

最後に余談ですが、娘は私が怒り始めると、なんと居眠りをするのです、堂々と。理由を聞いてみると、「長くなるから眠たくなっちゃう」とのこと。その程度に捉えてくれていたら何よりですが、自己防衛でもあったのかもしれませんが。

孫ちゃんす



上田しずか展

「うみ そら はな に 聞いたこと」

What I heard from the sea, sky, flower.



それが一番小さくても力強い
平和への近道だと信じています

自然に触れ 感謝し 心を満たす
自分を愛し 大切にすることで
自分の隣にいる人の事も
本当の意味で大切にできる

日常の中にある小さなしあわせに気づく
そんな展覧会を目指しました

2025 11.5 (水) → 11.19 (水)

9:30~16:30 (入館は16:00まで)

※11月9日(日)・16日(日)は休館

会場／立命館大学国際平和ミュージアム
2階 ピース・コモンズ

※立命館大学 衣笠キャンパスの東側

キャンパスの正門からは少し離れているため

「立命館大学前」バス停から来られるのがおすすめです(徒歩2分)



立命館大学国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1



今日を 今を 大切に生きていますか？

今年は 戦後80年
たった80年前 —— ほんの少し前
この国に 今のような日常は
ありませんでした

だいすきで 大切な人と
ある日突然 引き離されてしまう世界
その悲しみや苦しさは
どれほど深いものだったでしょうか

この小さな星で
たくさんの涙が流れました

そして今もなお
この空の向こうでは戦いが続き
たくさんの涙が流れています

当たり前のように はじまる毎日は
決して当たり前ではなく
奇跡みたいなこと

そんな想いを
＜すいてきちゃん＞に託しました



争いの涙ではなく
喜びの涙を

かけがえのない日常に感謝し
身近にある自然を感じて
同じ空の向こうを想う

ひとつの空 ひとつの海

みんなが
今を大切に生きることができる

そんな ささやかなしあわせを

平和への祈りを込めて

【PROFILE】上田しずか

セキスイハウス・メインビジュアル、「なんばパークス」店内柱イラスト、ダイドー清涼飲料水、読売テレビ「土曜はダメよ!」「朝生ワイドす・またん!」「旅ぶら」番組ロゴ&キャラクターなど。雑誌や広告、店内イラスト、キャラクター開発、ショップロゴなど幅広く手がけ、東京やニューヨークでの個展開催やグループ展にも参加しています／大阪モード学園・講師歴6年





二人目を
妊娠した娘が
幼児を連れて
里帰りしてくる
ことになった。

新聞の
投書欄で
読んだの
だったと思う。



「迷惑騒音」
in the shade of family tree

木陰の物語

団 士郎

周囲に迷惑を
かけてはいけな
いと、
新幹線のグリー
ン車、
一番前の席を取
って
母は切符を送っ
た。



しかし車中、
「他のお客さん
が泣き声がうる
さいと言ってい
るので、静かに
させて欲しい」
と車掌に注意さ
れた。



つわりに苦しみ
ながら娘は、
子どもを連れ
て、ずっと
デッキにいたと
いう。



「子どもの声
を迷惑に思っ
た気持ちも
分かるが…」



祖母はためら
いながら女
性専用車両の
ように、子
連れ専用車両
を常設してい
るかと思っ
た。



抑制のきいた
思慮深い意見
だと思っ
た。

ノルウェーを
鉄道旅行した
時、
プレイルールの
ついた子連れ
専用車両を見
た。



ここまで
サービスする
んだと思っ
た。



そして日本は
どこまで「迷
惑だ」とい
う声を、のさ
ばらせる気だ
ろうと思っ
た。



そんなクレーム
に、「あんたは
子ども時代、
泣かなかつた
のか」と、嫌
味のひとつも
言いたくな
った。

最近の親が
みな無責任で
、子どもが騒
いでも放
つたらかな
んてことは
ない。



それより、懸
念に泣きやま
せようとあ
やしたり、ミ
ルクをやっ
たりする若
い親を、公
共交通機関
の中で見る
ことは多い。



そんな姿を
みると、「大
変だなあ」
と思っ
た。



そして改
めて、ず
っと考
えてきた
「迷惑」
という
言葉の
ことを
思っ
た。



自分が不快に感じる
出来事をなんでも、
迷惑だと言ってしまうて
いいのだろうか？



自分の不快を、
直ぐに責任者に
何とかしろという人。

ドイツは迷惑騒音に、
子どもの騒ぐ声
は含まないと、
法律で決めたそうだ。



これと虐待防止に
「泣き声通報」を
促す日本の昨今が
重なった。

気がかりで
心配だという人と、
子どもがうるさくて
迷惑だと思う人の
区別なんてできない。



どっちでも良いから、
電話を！と
虐待通報CMは
連呼している。

「泣き声が気になったら…」
を連発すれば、
泣かせているのは
良くないことだ
ということになる。



つい最近
飛行機内での
赤ん坊の泣き声に
クレームを付けた
女性漫画家が
大バッシング
されていた。



彼女は泣き声が
うるさくて、
当然迷惑だと
文句を言った
つもりなのだろう。



世の中の反応に、
まさかこんな…と
思ったのではないか。
何かにつけて世の中の意識が
過敏、肥大化していないか？



飛行機が
安全に飛んで、
赤ん坊は元気に
泣いていれば
いいではないか。

百歩譲って、
こころない親が
増えたのだとしても
そんな親は、
自分勝手に
そういう人間に
なったのか？



その人も育てられて、
そうなったのではないのか？



大きなことには
意見を持てず、
小さなことで
意地悪くなるのが、
最近の風潮だ。



閉塞した
社会状況には
手をつけず、
迷惑という言葉で
当事者を
追い詰めるのが、
まともな社会だとは
思えない。



“木陰の物語”
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。



子どものことで
相談に来た
両親に会っていた。

訴えを聞いた後、
いつものように
家族のことに
ついて聞いた。



団 士郎



「そうですか、
学校もなかなか
大変そうですね」



むしろ、訴えだけが
課題だという
見方はとらない。



日常生活、健康や家族の
抱える他の課題など、
何が出てきても驚かない。

などとひとしきり
教育現場のことに
話題が広がった。



「お仕事は？」と
問うと、母親が
小学校の教員を
していると聞いた。



でも怯まず、
「アルバイトと
言いますと？」と
つなぐと



ぎょっとした、
そして早々には
触れない方がよい
話題だったのかなと
思った。



すると間髪入れず妻が、



そして顔を向けて、
「お父さんは何をしておられるんですか」
と尋ねた。



「ビルの外壁の
掃除とかねえ」
と妻が話す。



「私の方が慣れて、
付き合ってくださいと
言っただけです」
と明らかに妻が笑う。



二人は大学の
ワンダーフォーゲル部で
出会ったのだと言う。



（どういうことか？）と思って
詳しく聞いてみた。



ちよつと妙な具合だなと思って
夫の顔を見るがニコニコしている。

どういふ話?と
思いながら
興味深く
質問を続けた。



すると彼が
登山家としては
有名な人である
ことが分かった。



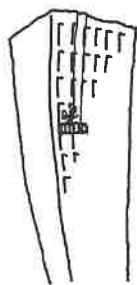
日本の登山隊の
ヒマラヤ遠征などに
召集されたりしていた。



学生時代、既に彼は
知る人ぞ知る
登山家だった。



彼女はそこに憧れた。



それ以来ずっと、
アルピニストである夫を
応援するのが
彼女の誇りなのだった。

こちらの感性が
小市民なもので、つい、
思い込みや予断に囚われる。



世間には
いろんな職業や
立場がある。

なのに気をつけていても、
成功イメージの類型化が
止まない。



雇用下のサラリーマンが
社会の大半を占めるように
なつて久しい。



気付かぬうちに
誰もが、そんな風に
思つてしまつてゐる。



だが、食えないけれども一流。



そういう仕事も
世の中にはある。



生活者として、
経済的自立を
目指すのは当然だが、



誰もがそう
考えてしまつたら、
この父親のような
生き方は選択できない。

それを支えるのを誇りとする
彼女のような選択も、
考えられないことになる。



経済合理性だけで
存否を計ると、
消えてしまふプロが
少なくない。



儲かる仕事だけが
残るのを、
自然淘汰とは
言えないのでは
ないだろうか。



“木陰の物語”
広がる! プロジェクト

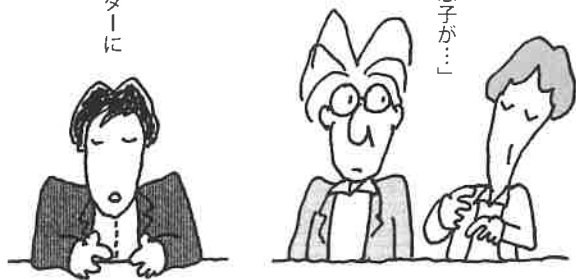


<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。

「自分は本当は
ゲーム・クリエイターに
なりたかった」

「大学を卒業した息子が...」
と知人が嘆いた。



in the shade of family tree

「両親のすすめで
大学には通ったが、
あんなことが
しなかった
わけではない」

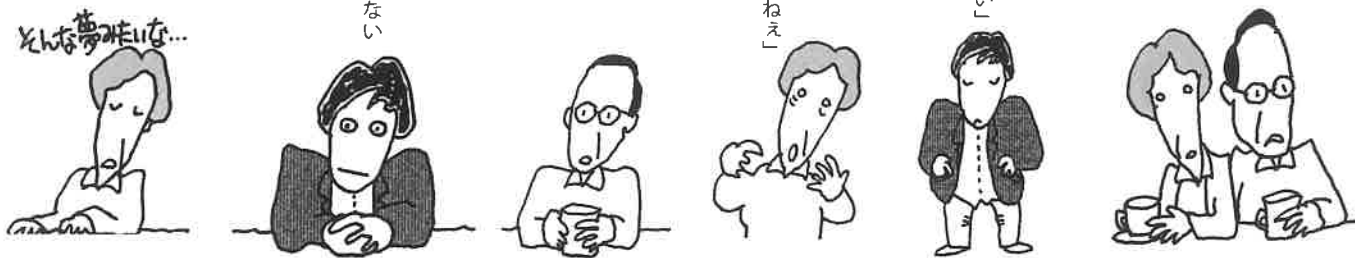
「だから就活もしていない」

「...って、今更
そんなことを言われてもねえ」

「そんな甘い世界じゃ
ないと思うよ」と言う

「絶対に頑張る、
これまで自分の意志ではない
ことばかりだったから
頑張れていなかった」

22歳になる一人息子と
両親が
エンドレスの
葛藤の中にいた。



親だって、
子どもの夢に
賭けてやりたい。

でも、現実を少しは知る先輩として、
そんなに甘くはないとも言いたい。

しかしそう言う之余計、
頑張ると言い張るのだ
と嘆いた。

そう聞かされた私は
いつも言うように



成功をおさめる人だって、
前夜までそのことを
知らない。



上手くいくかどうか、
親にわかるはずがない。

それより本気なら、
自宅でコツコツ
努力している
なんてのは
駄目だ。

「才能が集まる場所で、同じ志の人
と切磋琢磨しなくちゃ」と言った。

息子にそう話すと、大喜びだったと言う。

そして上京。
専門学校に
入学し、
一人暮らしを
始めた。



とにかく二年間、
本当にやりたいことに挑戦する。



親はそれを支える。



楽しくやっている。
頑張っている。



友達には
才能のある人が
沢山いる。
そんな
連絡があると、
聞いていた。



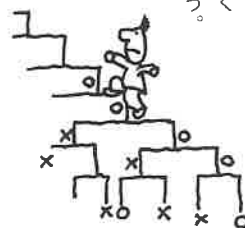
ゲーム・クリエイターの世界がどんなものか、
知っているわけではない。



花形は世界的大成功をおさめる
ビジネスだとはきいていた。



当然ハンパなく
厳しいのだろう。



彼の実力が
どれほどのものが、
素人の私にも
両親にも
わかるわけがない。



そこで知人に頼んで、
その世界では
超一流という人に
会える機会を
作ってもらった。



彼にとっては
神のような
存在だったろう。



作品を持って
会いに行き、
どんな話に
なったのかは
知らない。



卒業後、彼は故郷に戻った。



そして公務員試験を受けて、
地元で元気に働いている。



それを聞いて私は、
やはり夢は
立ち向かってこそ、
更新もされるのだ
と思った。



夢や
希望が
時間と共に
変化しないのは、
多分、
挑戦しなかった人だ。



チャレンジが
夢の実現第一歩で
あることを
知っている大人に
彼はなった。



これからの
彼の人生に
何があるのか。
夢は継続中だ。



動画で楽しむ木陰の物語



木陰の物語がアニメになりました。
書籍で読むのとはまた違った味わいをお楽しみください。PCのほか、スマートフォンからもご覧いただけます。

QRコードを読み取りお楽しみください。

youtube.com/honblockun

単行本のご購入は amazon.com

検索ワードは...

残念ながら当時の写真は見つからなかったけど
プログラムがありました。リズムパフォーマン
スっていう午後イチの種目♪おべんと食べてから
思い思いの仮装に着替えてリズムに乗って踊るの
ね♪そのあと親子種目も続いて3時頃までやって
たんだよねー（鶴谷）

運動会の感想ご紹介

上の子からはらまちでお世話になって最後の運動会。それが、まさかの土日中止で園庭運動会になってしまったのはとても残念でしたが、（我が子に朝、中止を伝えた時は「え…なんで…??」という反応でしたが特に泣いてはいなかったのですが、私の方が「今まで一度も延期にもならなかったのになんでー!!!」ととても落ち込んでいました。

先生方も撮影場所や撮影タイムを作ってくれたり、いろいろ工夫を凝らしてくれてありがとうございました！練習していたものと違う形での開催は大変だったと思います。園庭運動会は子どもを近くで見られてアットホームな雰囲気で見学できたのが良かったです。

この運動会の練習を通して、我が子の成長をとて感じました。

まず、この夏休みはほぼ毎日あそびっこを利用して、その時にリレーに向けて園庭を何十周も走る練習をしていたそうです。なので、この夏を終えて走るのが突然早くなりました！それで自信がついたのか、ますます走る練習をするようになりました。アンカーの候補に入れてもらった時もとても嬉しそうで、家族も「え！！〇〇がアンカー！？」と家族、親戚中がどよめきました。

運動会の10月に入ってから足を怪我してしまったり、本番は抜かされそうでハラハラしましたが、無事に走り抜くことができました。〇〇のことを信じてアンカーを任せてくれた先生やお友達に感謝です！跳び箱も最初は4段すらとべず苦労していましたが、本人は「目標は8段！」とずっと言っていて、家でも椅子やクッションを使って飛ぶ練習をしていました。すると少しコツを掴んだようで、本番では目標の8段には届きませんでしたが、6段を無事跳ぶことができました。

我が子はあまり競争意識がなく、苦手だと感じたことはそもそもチャレンジすらしないタイプだったので、こんなにも練習を頑張ったり、できないことを悔しがったりすることはとても意外でした。子供のことをよく観察したり理解することは大切だけど、〇〇なタイプと子どもを決めつけて枠にはめてしまうのはよくないんだなあ今回改めて学びました！

最後まで勇気づけて応援サポートしてくれたさき先生、とわ先生、その他の先生方、ありがとうございました！

これでまた一つ大きな行事が終わってしまい寂しいですが、次は音楽会に向けて親子共々楽しみたいと思います♪ありがとうございました！

年長



運動会、今年は雨天で延期でしたね。保護者皆様のご協力のおかげで大きな事故も無く無事開催できました。ありがとうございました。

**今回は、感想の紹介と最後に質問の多かった体育館開催について返答をさせていただきます。
眞野**

長い間のご指導、ありがとうございました。終わった後の園児さん達の笑顔、とても素敵でした。充実感、満足感、達成感…たくさんの思いが残ったことと思います。

諦めることなく、最後まで頑張った跳び箱。

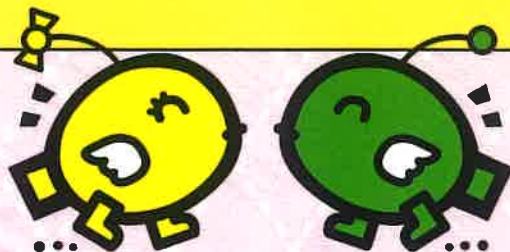
心をついに、一生懸命走ったりリレー。

情景が思い出されるような掛け声と踊り。

みんなと重ねた練習で、思いやりや優しさも学んだ、と感じました。大好きな園庭で行われた最後の運動会。一人一人の表情を間近で見られ、大きな成長を感じることができました。（祖母）

ずっと楽しみにしていた運動会。悪天候で中止と知ったときも、気持ちが途切れることなく受け入れて、昨日を迎えることができました。憧れの種目に挑戦して一つ一つできることが増え、自信をもつことができたのは、これまでのご指導のおかげです。

仕事で向かえなかった私だけが大きな悔いが残りますが、秋の晴れ晴れとした空のような清々しく、やり切った息子の笑顔からホッとした日でした。先生方、たくさんのご配慮を本当にありがとうございました。（母）



年長



今年も運動会の企画、運営大変お疲れ様でした。今回は小学校のグラウンドでの運動会が延期になり、初めての園庭での開催とのこと。天候にも恵まれ、まさにスペシャルな運動会となったと思います。

当日、園庭に入ると本番前、スタンバイしている子供達から「今日は頑張るよー!」「跳び箱〇段跳ぶから見てねー!」の声。子供達は延期になったことに気を落とす様子もなく、むしろ子供達と大人の距離も近くなったことで、例年以上に子供達の気合いも入っているように感じました。事前の家庭での親子のソーラン節の練習でも「お父ちゃんもっと腰を落として!」「チョイヤサ、のところはこうやるんだよ!」と、子供の様子から本番にかける想いが見受けられました。

園庭での開催となった今回の運動会、結果として大変素晴らしい会だったと思います。たくさんの感動をありがとうございました。

先日は、運動会を開催して頂き、ありがとうございました😊

自宅でたくさん練習し、はりきっていた為、雨で延期になった事を伝えるとウルウルしていました

😭そんな感情が湧く事にも成長を感じました😊

ついにやって来た運動会▶保護者が近くにいる事で緊張しちゃうかな?と思いきや、花笠では真剣な眼差しでしっかり前を向き、全身を使って踊る娘♡とてもかっこいい姿を見る事ができました・・

個走では、入場の時からスキップをしたり、名前を呼ばれた際も大きな声で返事をし、一生懸命走る事ができました😊、本人が1番楽しみにしていた玉入れでは、玉入れの箱に玉が届かないながらも、健気に笑顔で玉を投げている姿が微笑ましかったです😊

園庭での運動会の開催になり、先生方の準備等も大変だったと思います💦保護者が見やすいよう狭い中での配置や入場の仕方も、色々工夫して頂き、ありがとうございました。祖母たちも間近で孫の頑張っている姿を見る事ができ、嬉しそうでした😊

来年は最後の運動会なので、やはり土日原小で開催してほしいなあ…と言うのが正直な感想です😊雨天時は以前のように原小の体育館を借りたり等、土日だとたくさんの方がみんな見に行けるの

本番は、子供達のその想いが遺憾なく発揮されたものになったのではないかと思います。最後まで諦めない気持ち、「がんばれー!!」という皆の応援の声、種目を終えた後の喜び合う声。どの種目からも子供達の熱い想いが伝わってきて、まるでドラマを見ているような気持ちになっていました。子供達に声援を送っているうちに私も熱いものが込み上げ、気がつけば涙が溢れてきていました。

先生方も園庭での運動会に向け短期間で色々悩みながらも企画を練り直し、本番に臨んで下さったことと思います。

当日も変更された段取りのために子供達が混乱しないよう、細やかな指示をして下さったり、リレーでコースアウトしないように並走して下さいなど、子供達一人一人に対する適切なフォローも素晴らしいと感じました。子供達が今回全力で運動会に取り組めたのも、先生方の裏での色々なサポートがあってからこそだと思っています。本当にお疲れ様でした。

気がつけば園で生活できる期間もあとわずかになってしまいました。残された園生活を素晴らしいものにできるよう、子供にも全力で楽しんでもらいたいと思っています。最後まで暖かいご指導をよろしくお願いします。

年中

保護者の皆さんも誘導に合わせて動いたり参加したり、ご協力いただけたこと、ほんとうにありがたく思います。

平日開催ということで、他のクラスは部屋で平常保育を行いつつ、昼食の時間がずれないように、11時半前には終わりたい、ということで急かしてしまったところもありますがご容赦頂ければと思います。

業者によるDVD撮影も緊急で日にちを変えたこと、園庭では撮影が難しいとのこと撮影できませんでした。職員で撮影したものを鋭意編集中です😊

先生方、準備や計画、練習等、本当にありがとうございました。今年度は雨で園庭開催となり、残念な気持ちになりました。しかし、園庭運動会の当日、その気持ちはなくなりました。原小で実施するよりも間近で子どもたちのことを見ることができ、とても嬉しかったです。また、一緒に玉入れをしたり、はてなボックスを持たせていただいたりと親である私たちも楽しませていただきました。本当にありがとうございました。

我が子は、家でも玉入れや花笠、かけっこの練習を楽しみながら頑張っていました。前日には、姉(小1)とプログラムに沿ってリハーサルをしており、わくわくしている様子が伝わってきました。来年は幼稚園最後の運動会。目標を持って取り組んでくれることを期待しています。

年中



今年の運動会では雨の影響で小学校のグラウンドが使えなくなり、平日園庭での開催となりましたが、先生方が短い準備期間の中でプログラムや配置を工夫してくださり、本当に素敵な運動会になりました!!

園庭での開催は先生や子どもたちとの距離が近く表情や頑張りがよく見えて、とても温かい雰囲気でした♡写真や動画も撮りやすく、子どもたちの一生懸命な姿をしっかりと見ることができて嬉しかったです。

また、当日は先生方がみんな笑顔で盛り上げてくださり子どもたちがのびのびと楽しむ姿がとても印象的でした。先生たちが楽しそうにしている姿を見て、見ているこちらまで自然と笑顔になりました!!

玉入れ、エンディングのダンスと一緒に体を動かして楽しむことができて本当に楽しかったです(^o^)マリオの演出最高でした!!

年少の頃と比べて声を合わせる場面や動きがしっかり揃っていて、子どもたち一人ひとりの成長を感じ、胸が熱くなりました。ここまで導いてくださった先生方に心から感謝しています。

ただ、平日開催になったことで、おじいちゃんおばあちゃんやお父さんなど楽しみにしていた家族が見に来られなかったのは少し残念でした。また、園庭での開催は学年ごとに分かれていたため、他の学年の頑張る姿を見ることができなかったのも少し寂しかったです。もし体育館などで開催できていたら、他の学年の競技も見られて、より一体感のある運動会になったのではないかなと思いました。そして小学校で予定通り行われていれば、業者の方による撮影もあり、DVDとして残せたことも少し心残りです...

それでも急な変更の中で先生方が最善を尽くしてくださったおかげで、子どもたちにとって思い出に残る一日になりました。準備から当日の進行まで、本当にありがとうございました!!感謝の気持ちでいっぱいです!!



年少



土曜日の延期はとても残念ですが、親子共に初めての運動会が心温まる園庭運動会という形で開催されて本当に良かったと思っています。お家でもがんばりまんやトロピカーニバルを披露してくれていましたが、大勢のお友達と一緒に一生懸命まるまる一曲踊り切る姿にはとても感動しました。園庭ということで距離が近かったのもとても良かったです。

写真のついたうちわも、とても可愛く作っていただきありがとうございました。それと入場した際に、ゆりえ先生がこちらに気づいてサッと並び順を変えて下さいました。おかげさまでより近くでがんばる姿を見られて嬉しかったです。お気遣いいただきありがとうございました。

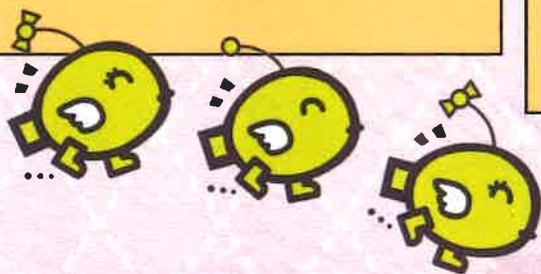
急な変更等でいろいろ大変だったかと思いますが、進行もスムーズでしたし、とにかく楽しかったです!娘も「明日もまたやりたい!」と言っていました。あっという間の運動会でした。先生たち皆様のおかげでとても楽しい思い出ができました。本当にありがとうございました。

夜中も聞こえる雨音に「あ〜運動会は無理そうだなあ」と残念に思いながら迎えた土曜日。園庭運動会の詳細が送られてきて、再び楽しみな気持ちと先生方への感謝の気持ちでいっぱいになりました。

息子が人前で発表する姿を生で観るのは初めてだったので、みんなと整列したり呼名されて大きな声で返事したりする姿だけでも成長を実感。ダンスでは楽しそうに踊ったかと思いきや少しぼーっとして、また踊りに戻る感じも息子らしくて微笑ましかったです。機嫌の悪いタイミングもあった1日でしたが、最終的には「運動会楽しかった!」とニコニコで振り返っていたので安心しました。

ちなみに息子は運動会が近づくと明日何曜日? 明日運動会? と毎日毎日聞いてきました。それくらい楽しみで仕方なかったんだろうと思います。我が家ではトロピカピッピッピッ! が頭から離れません(笑) これからも運動会の楽しい余韻が続くんだろうなあと思います。

先生方、これまでの準備や雨天中止からの予定変更など沢山ご苦労があったかと思いますが、最高の運動会でした。本当にありがとうございました!



年少



今回は学年ごとの開催だったので出来ませんでしたが、欲を言えば年長さんの跳び箱や、年中さんの玉入れなどの競技も、来年以降の参考になるので実際に見てみたかったです。
特に跳び箱は年長さんが毎日園庭で練習を頑張っている姿を見て楽しそうと思ったようで、本人も一緒になって練習の列に並んでいる姿が印象的でした。ちなみに運動会で何が一番楽しかった？と本人に聞いたところ「かけっこ」と「風船(年少親子リレーの種目)」でした。それぞれ一生懸命頑張った子どもたち全員に花マルをあげたいです！🌸🌸子どもたちも先生方も保護者もみんなお疲れ様でした。

まずは運動会の開催ありがとうございました！
学年ごとに園庭での開催という形にはなりましたが、親も子もひとまず無事に初めての運動会に参加できてよかったです。生憎の悪天候で延期を余儀なくされて、先生たちも準備や段取りの変更など、本当に色々大変だったはずなのに、決して疲れた表情を見せずに子どもたち一人一人に声を掛けてテキパキとスムーズに動く姿がとても凄いなと思いました👏

元々〇〇が大勢のガヤガヤした雰囲気苦手で消極的になってしまうところがあり、練習の早い段階から恐れていたイヤイヤモード発動…😭「踊るのイヤだ」

「衣装着ない」「でも皆が楽しく練習をしているのは気になる…」といった問題が勃発。それもあってか二学期になってから集団行動に馴染めずに情緒不安定になってしまうことも多く、先生方をたくさん困らせてしまったと思います💦どうすれば無理なく楽しく参加できるかな？という方法を先生方も一緒に考えてくださり、園でも家庭でも試行錯誤して少しずつステップアップできるようになったものの、やはり本番は大勢のギャラリーを目の当たりにして雰囲気に圧倒されたのか、予想通り初っ端から先生に抱えられながら大泣き大暴れ😭😭初めての経験はちょっぴりほろ苦い思い出になってしまいましたが、それも経験の一つですね。また来年の運動会は泣かずに皆と楽しく参加できることを目標に頑張りたいと思います！👏

土曜日に原小での運動会は中止になってしまい両家総出で応援に行く予定だった為、大人達はとても残念でした。その日は皆さんでお買い物、食事会になってしまいましたが〇〇本人は、ばあば、おじちゃん、おばちゃん皆さんでお出かけできて楽しんでいました。残念ながら園庭での運動会はみんな仕事の為、ママしか参加できませんでしたが、動画と写真で家族みんな楽しんでいました。ジャンプジャンプゴー！では、家族みんな心配していましたが走る姿を見て感動しました(笑)お休みの日に公園で練習した甲斐がありました。大きな声で返事もできていたしダンスもなんとかなんとか踊っていたので良かったです。まだまだ落ち着きがない所もありましたがすごく成長したなあ！と感じました。ちょっと寂しがり屋さんが出てしまい涙してしまっただけど楽しかったよ！の言葉を聞けて本当良かったです。家族皆さんで褒めて褒めて褒めまくりました(笑)来年は原小で出来るように！来年こそ両家総出で応援に行きます。

大きなグラウンドで出来なくて残念だなと思っていましたが、園庭での運動会とっても楽しかったです！子供達の頑張ってる姿を目の前で見ることができて嬉しかったです。親子競技も楽しく参加でき、いい思い出になりました。時間がない中、色々変更があり大変だったと思いますが、先生達のおかげで素敵な運動会でした。ありがとうございました！

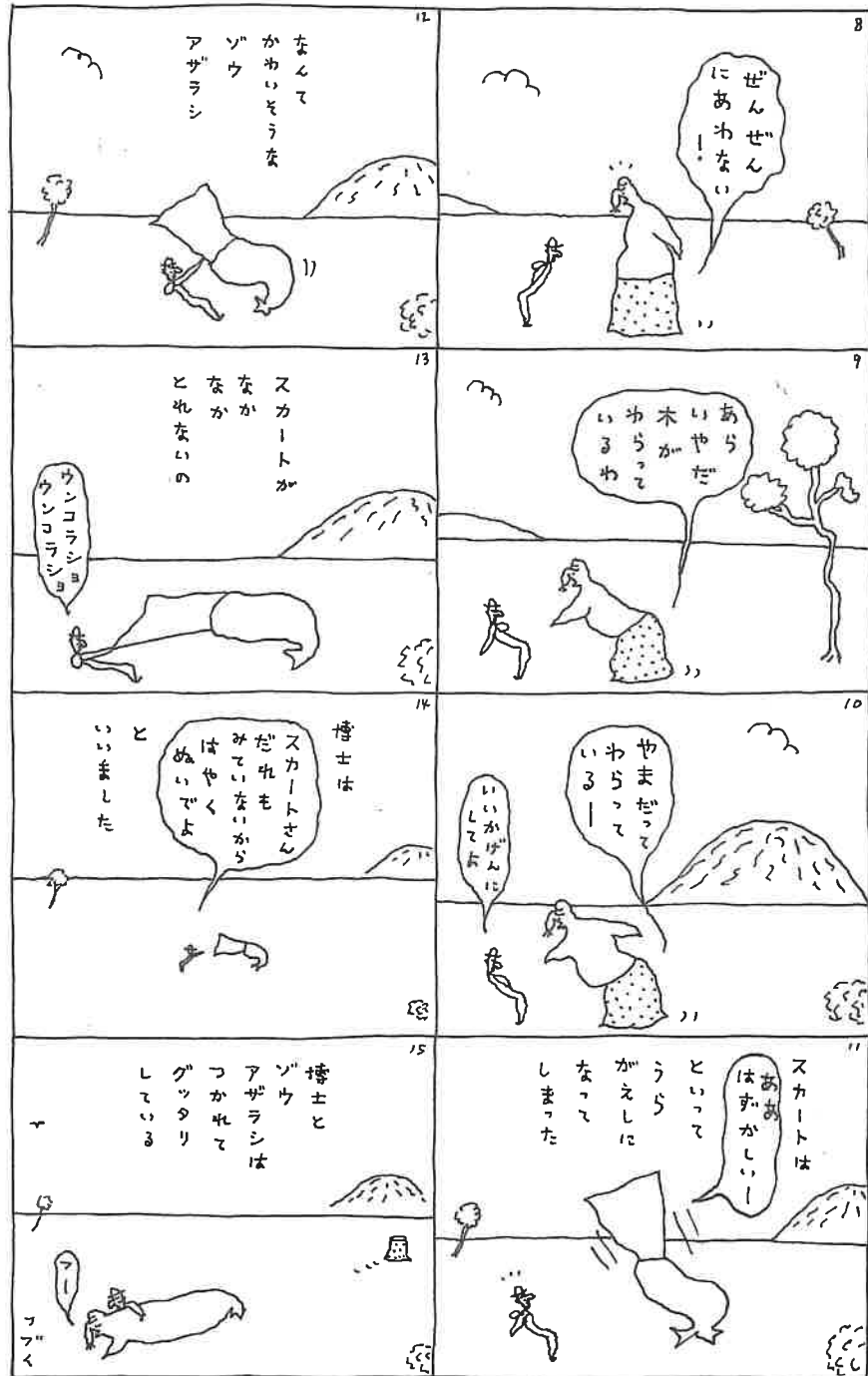
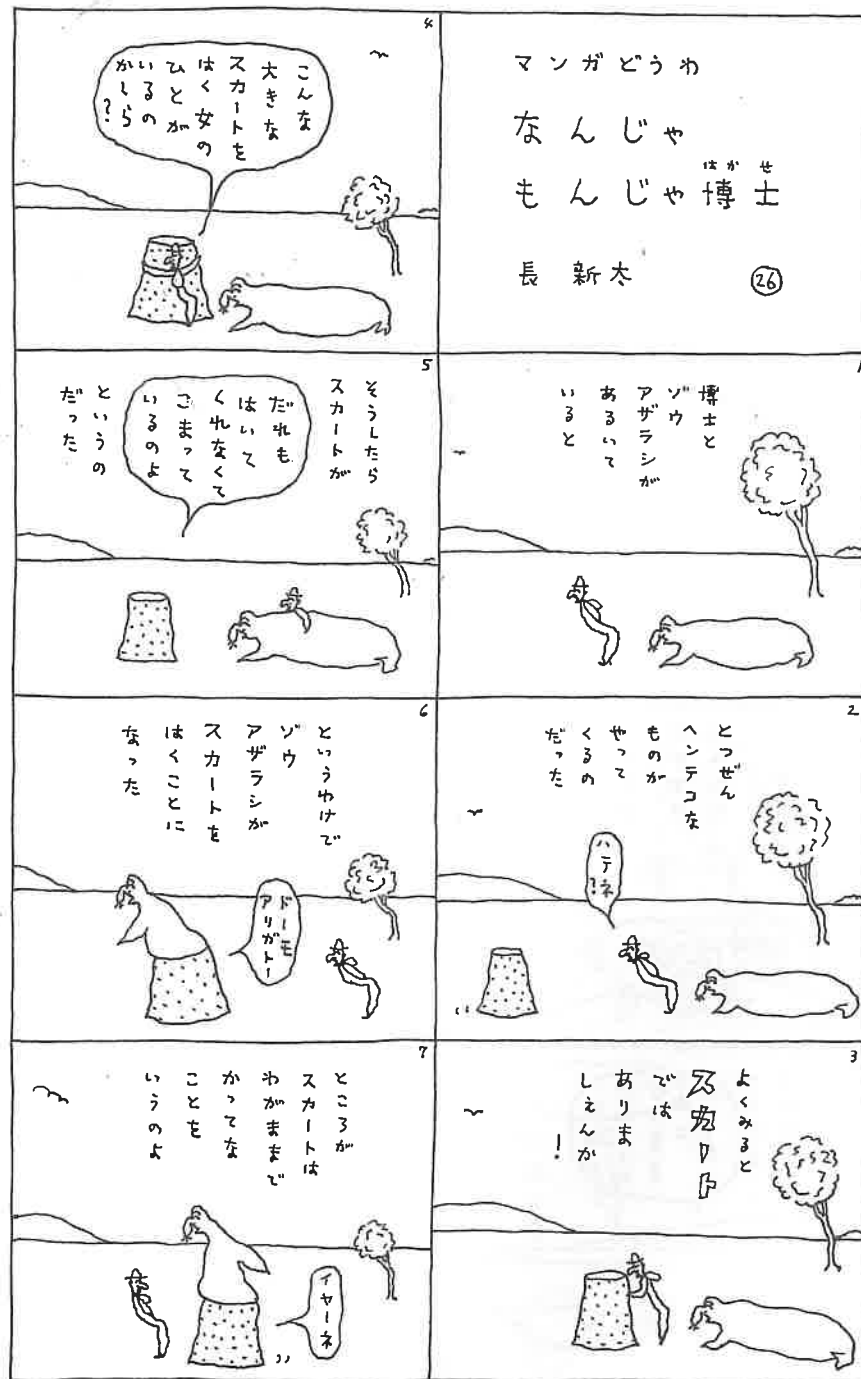
体育館を使用しないことについて

過去二回両日雨天で体育館開催をしたことがあります。その経験をふまえて原町幼稚園の運動会は体育館での開催はやめようと決めました。理由を事前にお伝えしていなかったこと申し訳ありませんでした。以下のような理由ですので、ご理解いただけると幸いです。

- ・体育館の使用は、地域の活動を譲ってもらうことになるので両日終日貸し切るのは憚られること。
- ・室内の限られた空間では満足に観覧ができなかったこと。
- ・室内で運動会の練習は行っておらず、子どもたちが慣れていないので上履きが脱げたり、濡れた床が滑って転倒も多かったこと。雰囲気もずいぶん変わります。
- ・慣れていない空間で行うため、今まで練習してきた成果を十二分に発揮する環境を整えられず、とりあえず「やっつけ」のようなカタチの開催になってしまうのは避けたい。

体育館での実施を踏まえた上で検証し、子どもたちの最大のパフォーマンスを発揮させるには「小学校でできない場合はいつも練習している園庭で」ということになっていたのです。とはいえ、延期日の告知が運動会1週間前となり皆様にご迷惑をおかけしてしまったので、来年度は年間計画を計画する際に延期日もお伝えしたいと思います。(ただし、その日が晴れるとは限りませんが…)来年は晴れて小学校で開催できますよーに👏

マンガどうわ
なんじゃ
もんじゃ博士
長 新太 (26)

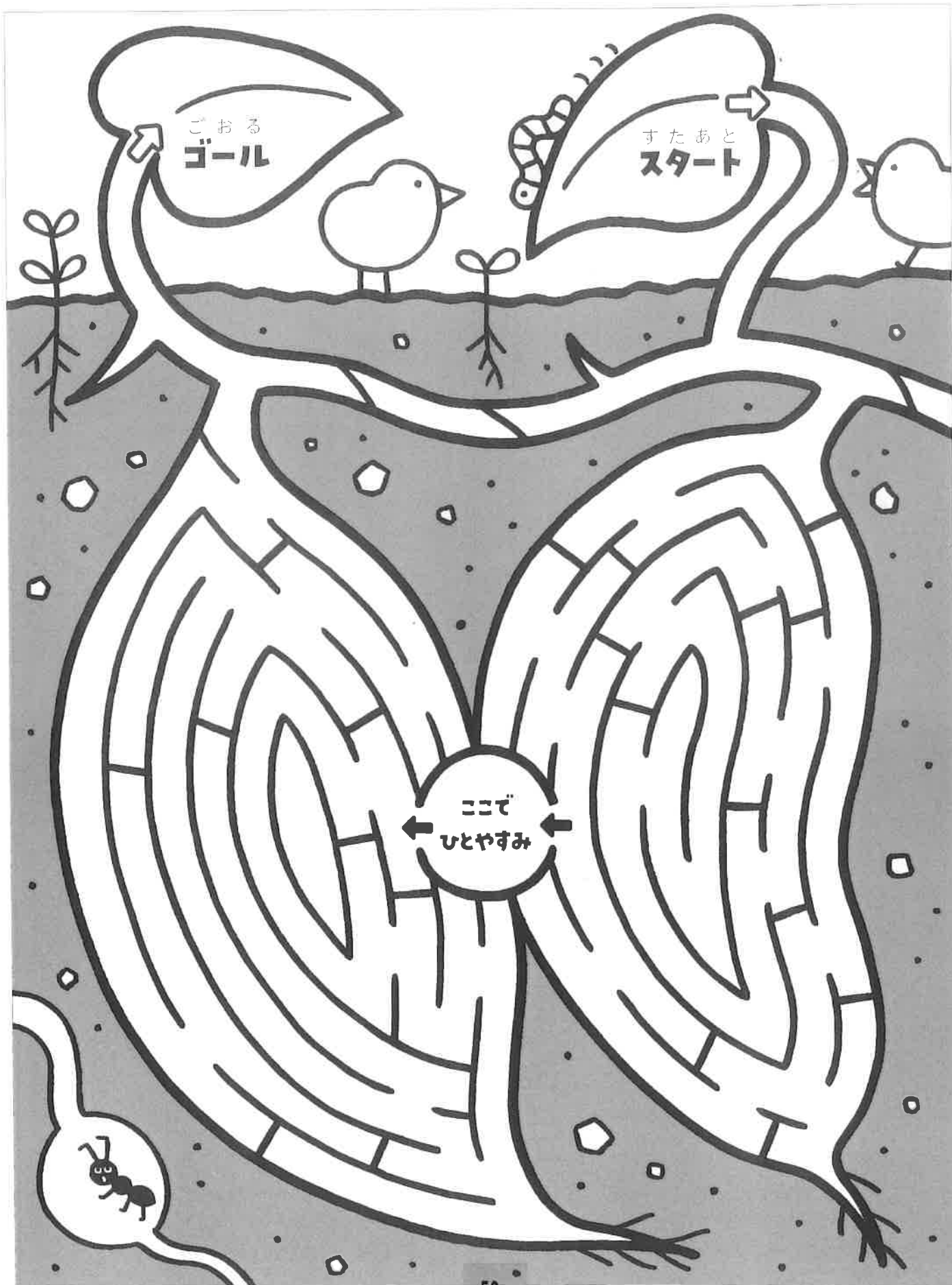


スカートをはいたゾウアザラシみたいな女の人ば、よくおります。いや、おりません! おりませんたら、おりません!!

めいろ

さつまいも

つちの なかに さつまいもが うまって いるよ。
ふたつの さつまいもの なかを とおって ゴールまで いけるかな。



挑戦の舞台

11月9日の日曜夜、NHKスペシャルでショパンコンクールに挑む若者たちのドキュメンタリーを見た。僕はクラシックが特に好きな訳でも無いし、ショパンに思い入れがある訳でもないで、何気に見ていたが、圧倒的なエネルギーにグイグイ引き込まれて最後まで見てしまった。

予選に出るピアニストたちは、とんでもないテクニックでピアノを奏でている。もうそれだけですごいなあ！天才だなあ！としか思えない。でもシビアに二次予選三次予選そして決勝と人数が絞られていく。出場者はとんでもない時間とエネルギーを費やしてコンクールという舞台に臨んでいく。

テクニックだけではない、ショパンという作曲家を、個々の人間的な成長や生き方の深みによって理解し演奏で表現できるか、ということだった。それがジャッジされる。番組で取り上げた若者(*1)たちの様子は、悩んだり泣いたり緊張したり、とても平静ではいられないような時間を過ごし、努力を積み重ねていく。優勝を逃した人たちは、一時的に肩を落としてはいいたが、気持ちを切り替え次のステップを歩み出していたことが印象的だった。確実に成長している様子が見られて気持ちはホッとした。

「へえ〜っそうなんだ！」と思ったのは、本番で弾くピアノは世界の5社のピアノが用意されていて、開幕前から試し弾きをして出場者が好きなメーカーのピアノを選ぶことができるということ(*2)。5年に一度の世界大会だし、そこまでやるのはコンクールの質の高さの証明でもあるんだろうけど、5台のグランドピアノを出場者ごとに舞台に入れ替えて出す作業を思ったら、素人の自分には「そこまで…」と思った。

そして、いつものクセで幼稚園のことに置き換えてみた。

到底凡人ではたどり着けない高み。そんな手の届かない舞台と比べれば、幼稚園の運動会で子どもたちが自分のやってきたことの成果を発表する舞台は、小さく些細なことのように映るが、ベクトルは同じなんだと思う。

土曜日に運動会延期の知らせを聞いた子どもの数人は泣いてしまったと後日感想から知った。楽しみにしていた舞台のために子どもなりに悩んだり努力したりしているんだ。

だから僕も先生たちも、園庭運動会は「単なる振り替え」でなく、できる限り舞台をきちんと整えてあげたいと思ったのだと、番組を見ながらあらためて気づいた。(^_ ^)サイヨカザイ
トヨ

未来への可能性を抱えた子どもたちの今。その舞台は世界から見たら豆粒のように小さいけど、子どもにとっては小さくないのだ。

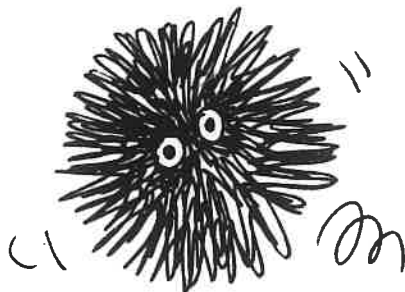
その舞台にきちんと向き合うこと、力を抜いたり諦めたりせずに向き合うことが、大きな舞台への挑戦に繋がっていくのだと思う。鶴谷主一



2025優勝者 エリック ルーさん

(*1)出場資格が16歳以上30歳までのため若者しか出ない。

(*2)毎年スタインウェイ社のピアノが一番に選ばれる中、今年はカワイのピアノが2番に躍進して国内外で話題になったと静岡新聞で記事を見つけた。出場者を支える調律師もまた、自社の名誉をかけて重圧と戦いながら最良の調律目指していると書かれていた。



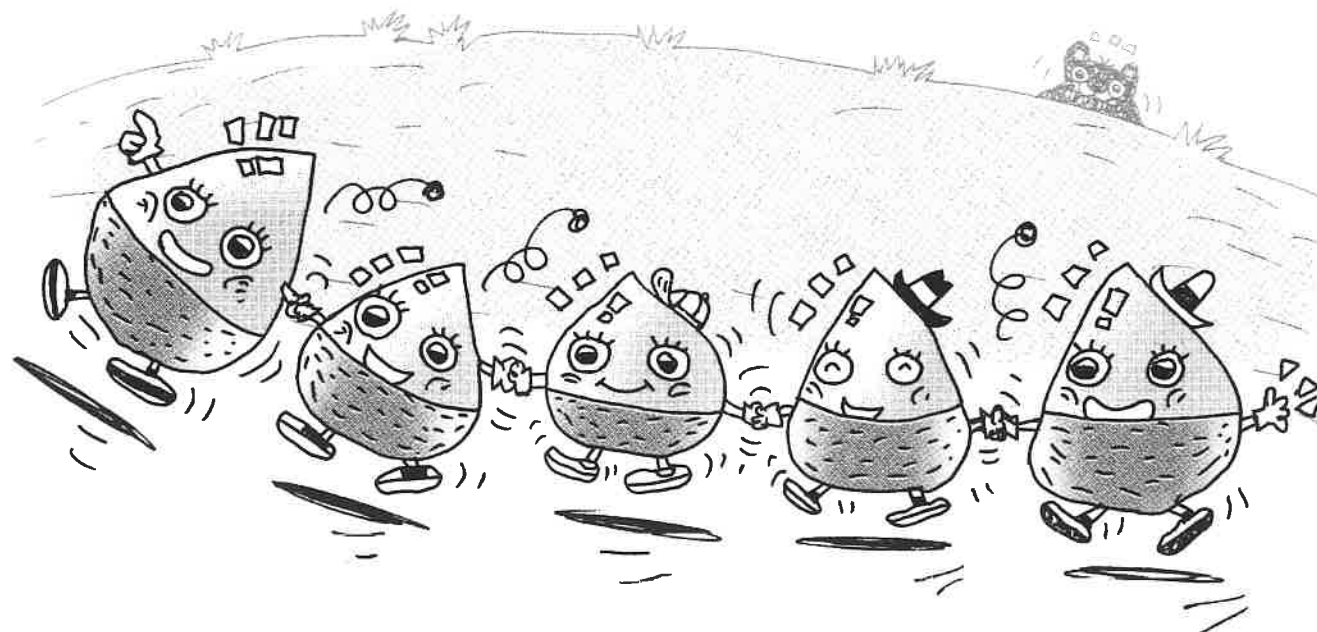
Haramachi

はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1
phone 055-966-7338 fax966-7370
<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME



こどものはらっぱ11月号

くみ／なまえ

●お家の方へ。圖便り「はらっぱ」のふろくです。お子さんがあれこれ考えたり気軽におし
ゃべりしながら落書きするためのきっかけで楽しんでください。●親子やきょうだいで一
緒にやってもOK、どんな画材を使ってもどんなふうを描いても、何かを貼っても結構で
す。イメージを発揮して個性あふれる作品を期待しています!●出来上がったら
お子さんに持たせてクラスまでお届け下さい。クラスに貼って「みんなはどんなの描いた
かな?」なんて見合って楽しんだあと月末にお返しします。

こんやのおりようりはなあに?

